

砂浜に「子ども喜ぶ」彫刻

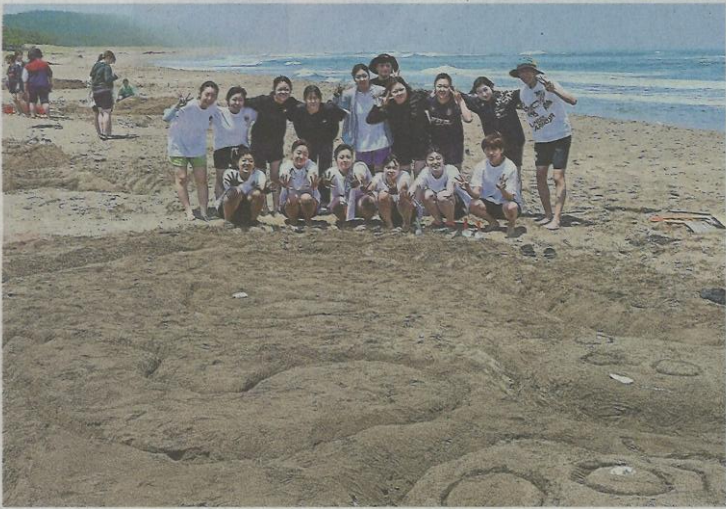
ハ 戸

八戸市の八戸学院大学短期大学部（杉山幸子学長）のこども教育学科の1、2年生は、今年120人が19日、八戸市の白浜海岸で「子ども喜ぶ○○」をテーマに、砂浜彫刻の実習に臨んだ。学生は浜辺を大きなキャンパスに見立て、ゼミ単位で砂まみれになって作品を作りを上げた。

2006年度から続く行事。保育者を目指す学生が、子どもにとって大切な砂遊びや水遊びを体験しながら地域の自然に触れる狙い。学生は、スコップで砂を掘って集めたり、バケツで海水を運び砂を固めたりしながら造形を行った。

野口ゼミは複数のアニメのキャラクターがジェットコースターに乗る様子を表現した。ゼミ長の2年・小野寺叶夢さんは「この日を楽しみにしていた。大きな作品で他のゼミより時間がかかったが、1、2年生16人が一致団結して制作、充実感でいっぱい」と話した。

（岡田圭逸）



作品の前で写真に納まる学生たち